

平成 25 年度第 4 回診断評価等基準委員会議事録

開催日時：平成 26 年 1 月 24 日（金）15 時 00 分

開催場所：神戸ポートピアホテル 南館 5 階 556/558

出席者：竹下克志（委員長）、笠井裕一、金森昌彦、金山雅弘、寒竹司、田中信弘、種市洋、細野 昇、松永俊二（委員）、福井充、松本守雄（アドバイザー）

欠席者：紺野慎一（担当理事）、橋爪 洋（メールにて報告・資料あり）、川上 守、清水敬親（委員）、高橋和久、宮本雅史（アドバイザー）

議題

1. JOACMEQ、JOABPEQ 健常者調査について

- ① JOACMEQ 健常者調査について（担当：田中委員）JOS 投稿し、open access としたことが報告された。
- ② JOABPEQ 健常者調査について（担当：橋爪委員）1 月末に草稿を完成し、2 月中旬に投稿することを目標。現時点で草稿作成過程の 7-8 割終了。

2. プロジェクト研究進行状況について

- ① 「腰椎変性すべり症に対する手術治療の有用性に対する JOABPEQ を用いた多施設前向き研究」（担当：寒竹委員）

現在 83 症例が集まり、固定にやや偏りがあるとのことであった。今後も症例（特に除圧例）の収集を続けていくことになった。
- ② 「腰椎変性側弯症の健康関連 QOL 低下に及ぼす X 線学的（脊柱変形）パラメータを検討する多施設横断研究」（担当：種市委員）

現在 93 症例の集積があり、X 線の計測を依頼したとのことであった。データ収集を延長して 2 月末を目標に予定数を目指した収集を継続することとなった。また、今後の研究の発展も視野に入れて、症例のフォローを考えておいていただきたいとのことであった。
- ③ 「術者によって頸椎症の手術成績（JOACMEQ）に差があるか」（担当：細野委員）

エントリーは 2013 年 12 月末日で終了した。ただし術後 6 ヶ月目のデータが必要なので、2014 年 6 月末日で全てのデータが揃う予定。術者一人あたり 30 例（の頸椎症に対する椎弓形成術）、を目標にしてきたが、現時点で術者 5 名がこの条件を満たしている。

3. 次回予定について

2014/4/16（水）,17（木）または 18（金）京都を候補とした